

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年12月 日

施設名	森林研修センター情報交流館	所管課	林業環境政策課
-----	---------------	-----	---------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80番地		
事業内容	<p>(1) 森林及び木の文化に関する情報の収集及び提供並びに学習機会の提供 (2) 森林に関するボランティア活動等の支援 (3) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (4) 利用料金の徴収に関する業務 (5) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (6) 情報交流館の利用促進に関する業務 (7) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務</p> <p>※『森林並びに林業、木材産業及び木材関連産業の技術に関する試験、研究等を行うとともに、森林並びに林業、木材産業及び木材関連産業に関する情報の収集及び提供、研修等を行い、森林の有効活用並びに林業、木材産業及び木材関連産業の振興発展を図る』（森林総合センターの設置及び管理に関する条例第1条）</p>		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>木造平屋建609.35㎡（木工室(54㎡)、研修室(54㎡)、シアター室(54㎡)、企画展示室(49.5㎡)、事務室(49.91㎡)、便所など） 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：①月曜日（その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日）、②休日の翌日（その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。）、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円（370円）、シアター630円（780円）、（ ）は休館日</p>		
職員体制	常勤職員：3人 非常勤職員： 人 合計：3人		

2 収支の状況

単位：千円

		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(予算)
収入	県支出金	14,500	14,915	15,183
	利用料	93	116	150
	参加料	1,720	1,464	1,925
	その他	50	56	
	収入計 (a)	16,363	16,551	17,258
支出	事業費	1,402	1,158	1,965
	管理運営費	3,859	3,939	3,923
	人件費	10,646	10,823	11,370
	支出計 (b)	15,907	15,920	17,258
収支差額 (a) - (b)		456	631	-

3 利用状況

	平成25年度(実績)	平成26年度(実績)	平成27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	11,353	11,428	11,500
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等でアンケートを取り、参加者の満足度や具体的な要望等を得るようにしている。 ・館内に意見箱、ホームページにメールフォームを設置し、また積極的に来館者とのコミュニケーションを図る事により、生の声を聞くことを心がけている。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等から得た利用者ニーズを元に、管理運営及び事業等に改良を加え、マンネリ化しないよう努めている。 ・森林や植物等に関する質問や地域に関する問い合わせなどに対し、関係機関を紹介したり資料やパンフレットを渡したりするなど、森や緑に関する情報発信基地としてきめ細かな対応を心がけている。 ・団体や学校行事等に対して、目的やねらいを明確に把握するため打ち合わせを重ねるなど、要望に応えるよう努めている。 		
③その他特記事項			

4 平成26年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた職員体制で、適切に施設の管理運営を行っている。またネットワーク団体やボランティア、学生等と連携を図り、利用者サービスの向上に努めている。 ・職員が研修に参加し、その内容を事業等にフィードバックができています。 ・子ども用図書や木工体験等の充実を図り、木の文化に関する情報提供を積極的に行っている。 ・関係する条例、規則等の理解とコンプライアンスの徹底が必要である。 ・防災対策、避難訓練等の充実、工夫が望まれる。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等に対し体系的な森林環境学習プログラムの提供を行っている。 ・公的機関、他施設、団体、ボランティア等との協力体制により、質の高い事業を行っている。 ・利用者のニーズに基づいた事業を企画し、体験を学びにつなげる取り組みがされている。 ・学校による利用実績を分析、フィードバックすることで学習プログラムの充実を図り、新たな学校に提案するなど、利用拡大への取り組みが望まれる。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての事業において、目標以上の実績を達成した。 ・来館者数は前年度より75人増の11,428人となった。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね予算通りに執行されており、経費の節減にも努めている。
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校等に対し体系的な森林環境学習プログラムの提供を行っている。 ・公的機関、他施設、団体、ボランティア等との協力体制により、質の高い事業を行っている。 ・学校による利用実績を分析、フィードバックすることで学習プログラムの充実を図り、新たな学校に提案するなど、利用拡大への取り組みが望まれる。 ・防災対策、避難訓練等の充実、工夫が望まれる。 ・指定管理者による条例、規則等の遵守及び共有が必要である。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの